



学校通信 とうよう

第4号
令和8年7月1日
泉大津市立東陽中学校
校長 花見 明子

東陽校区小中一貫教育校 重点教育目標 「誰とでもつながる力」の育成
学校教育目標 自己成長と挑戦

泉大津市立東陽中学校ホームページ



自己成長と挑戦・充実の1学期

新年度が始まって三ヶ月が経ち、学習や学年・学級の取り組みの成果が、少しずつ日々の学校生活にあらわれるようになりました。授業は前向きに参加、委員会活動を積極的に行う、部活動に一生懸命取り組む、奉仕活動をする、自由参加の取組みに応募する、来校者を親切に案内する等、自分から行動するようすがたくさん見受けられています。今号では、学年で取り組んだ行事を紹介します。



1年生 校外学習「青少年野外活動センター（和泉市）」6月10日（水）

1年生は、大阪市立信太山青少年野外活動センターまでのフィールドワークを行い、現地で班対抗カレーコンテストに挑戦しました。目的は、

「班活動を通して、なかまと協力し自分たちで課題を解決する。」

「責任を持って自らの役割を全うする意識を育てる」としています。

「校外学習といえばお弁当持参では？」

——いいえ、昼食は自分たちで作ります。

「飯盒炊さんなら、食材が用意されているのでは？」

——いいえ、自分たちで買いに行きます。

「野外活動センターまで約4.1kmありますが、交通手段はバスですか？」

——いいえ、1時間かけて徒歩で行きます。



すべて自分たちの力でやるんだ…と、心の中でつぶやいた人もいたことでしょう。1年生はそれに挑戦、班で声をかけあって協力し、目的を達成しました。うまくいったこともあれば、うまくいかなかったこともあったと思いますが、最後に仲間と達成感を共有できたことは大きな経験となりました。

2年生 校外学習「人と防災未来センター（神戸市）」6月9日（火）

2年生は、以下を目的として校外学習を実施しました。

神戸の記憶を未来への希望へ ～震災から学ぶ、いのちをつなぐバトン～

「阪神淡路大震災を通して、防災・減災・命の大切さについて学ぶ!」

「班活動（班別フィールドワーク）で兵庫県の南京町を訪れ、まちの魅力を学ぶ!」

『校外学習を通して、「見て、感じて、考えて、伝える」学びを体験する』

新大阪駅集合という修学旅行を意識した試み、いのちをテーマとした防災センターでの学習、シアター・語り部などの選択体験、異国情緒あふれる南京町散策…なかまとともに自分たちの力で行動することに挑戦しました。



近年、全国各地で地震が起こっており、太平洋側でも南海トラフの危険性が高まりつつある。今、校外学習の取り組みで得たことをしっかりと心に刻んで、いざというときに行動できるようにと願います。そして、校外学習の学びはこれで終わりではありません。「いのちをつなぐ」をテーマとした最終目標を掲げて、今後も時間をかけて取り組みをすすめていきます。

3年生 修学旅行「長崎」6月8日（月）～10日（水）

3年生は、学びの集大成として、長崎方面への修学旅行を実施しました。スローガンは、「Champon!!」～79期生のみんなの個性（具材）を混ぜ合わせ 最高の学年（一杯）に～

三年間の学びの集大成として、これまでの学習や班活動、各個人の学びの成果を発揮する三日間となりました。

1日目、新幹線で博多まで行き、バスに乗り換えて長崎平和公園・原爆資料館へ。長崎の修学旅行は、「平和とは何か」を自分の言葉で考えるための大切な旅、ここで学ぶ平和には、「人が人として生きるための尊厳を守る」という深い意味があります。被爆者の方々が無言で語るの「同じ悲しみを誰にも味わわせたくない」という願いです。原爆の被害を受けた地を歩き、被爆の痕跡に触れ、そこで生きた人々の思いを知ることは、教科書だけでは決して得られない重みを持つ体験となり、私たちに平和の尊さを強く感じさせてくれました。平和を考えるうえで最も大切な出発点に立って考えることができました。

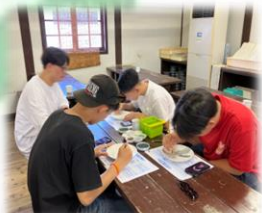
夜は、委員会が中心になってレクリエーションを企画し全員で楽しみました。生徒が主体的に運営を行いましたが、入学して三年目となるとここまで成長するのかと引率教員一同感心させられました。

2日目、長崎市内のフィールドワークは、出島、浦上天主堂、グラバー園、中華街…街は穏やかで日常の営みが当たり前のように行われています。長崎駅周辺は、近代的な街並みと歴史の記憶が同居、路面電車がゆっくり走り、坂の多い街並みがどこか懐かしい空気を漂わせていました。長崎は古くから海外との玄関口であり、同時に戦争の傷跡を抱えた街であるという二つの側面を持っています。バスの運転手さんのはからいで巡ってくれた車窓から、戦時中に使われた防空壕跡を確認することができ、華やかな観光地のすぐそばに「戦争の現実」が静かにたたずんでいることを知りました。1945年8月9日に一瞬で奪われた多くの命と、そこから立ち上がった人々の強さ一層感じさせてくれました。重みのある深い学習をしながらも、フィールドワークやバスの車内では、会話を弾ませる三年生、個性を混ぜ合わせることで、仲間との絆が一段と深まったと感じます。

午後遅くに訪れたハウステンボスは、長崎県佐世保市に広がるテーマパークで、その成り立ちには「平和」と「国際交流」への願いが込められています。江戸時代に日本と唯一交易を続けたオランダと歴史的なつながりがあり、日蘭交流として構想され、オランダの街並みが再現されています。建設には「自然との共生」という理念も強く反映されていると聞きます。広大な敷地に運河や森を配置、「美しい生活空間」が広がり、海外に行かずともヨーロッパの街並みや文化に触れられることで、国際理解の入り口であると体感することができました。

3日目、最終日は5つのグループに分かれて体験学習「有田 Porcelain Park 絵付け体験」「九十九島カヤック体験」「はねや めんたいこ作り」「大宰府天満宮 学問の神 祈禱」「九十九島水族館 遊覧船」を行いました。長崎県の雄大な自然の中での体験や隣接する佐賀県・福岡県での芸術・文化・地場産業の体験は貴重な経験となりました。

修学旅行で長崎を訪れることは、過去を知るだけでなく、未来をどう生きるかを考える機会になりました。私たち一人ひとりが、日常の中で他者を尊重し、対話を重ね、争いを避ける選択をすることこそが平和をつくる第一歩となります。修学旅行で学んだことを胸に、未来に向けて、これからの学校生活、そしてこれからの社会をみんなで協力してよりよいものにしていくために努力をしていきましょう。



有田 Porcelain Park 絵付け体験



九十九島カヤック体験



はねや めんたいこ作り



大宰府天満宮 学問の神に祈禱



九十九島水族館 遊覧船